

STI for SDGsを推進する岡山大学の取組

OKAYAMA UNIVERSITY
×
SDGs



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY



狩野 光伸

岡山大学 副理事（企画・評価・総務担当（SDGs推進））

SDGs推進企画会議 議長

© 2018 OKAYAMA UNIVERSITY

～大学が持続可能社会達成に貢献できること～
STI for SDGs

モノも、コトも、創り出す
直感（仮説）と理性（証拠）をバランスさせながら



「困りごと」から始まる：
SDGs時代のパラダイム

2017年岡山大学SDGs活動実績



<SDGs活動成果物> ...これらは大学公式ウェブサイト内に掲載中 (<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/okayama-sdgs.html>)

SDGsに関する岡山大学の行動指針

岡山大学は、その理念・目的の下、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献する活動に取り組み、持続可能な社会の実現を牽引していく。

【SDGsに関する岡山大学の行動指針を示す意義】

- ① 人類共通の今日的課題であるSDGsへ貢献することは、岡山大学の理念である「高度な知の創成と的確な知の継承」のもと、岡山大学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」に資するものである。
- ② ユネスコチャリティを推進してきた岡山大学には、岡山地域や国際社会と一体となってSDGsを推進していく素地と責任がある。
- ③ SDGsを社会との共通言語として教育研究並びに社会貢献活動を行っている。
- ④ SDGsの達成に貢献することで、課題解決力に秀でた人材を育成する。

SDGsの達成に向けた岡山大学の取組事例集



SDSNオーストラリア「大学におけるSDGs推進ガイド」(翻訳)



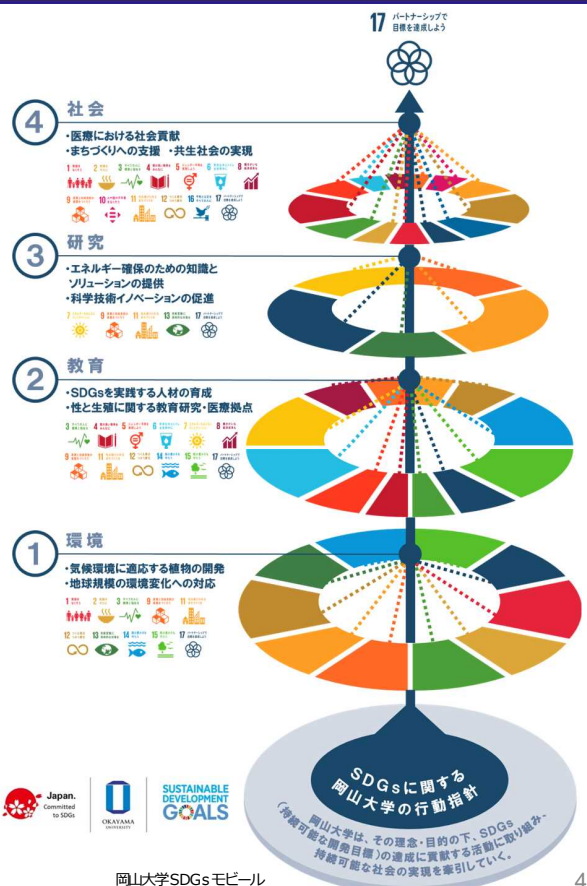
ジャパンSDGsアワード 特別賞 「SDGsパートナーシップ賞」受賞

超えて繋がる岡山大学SDGsの
パートナーシップ《Goal 17》
が高く評価された



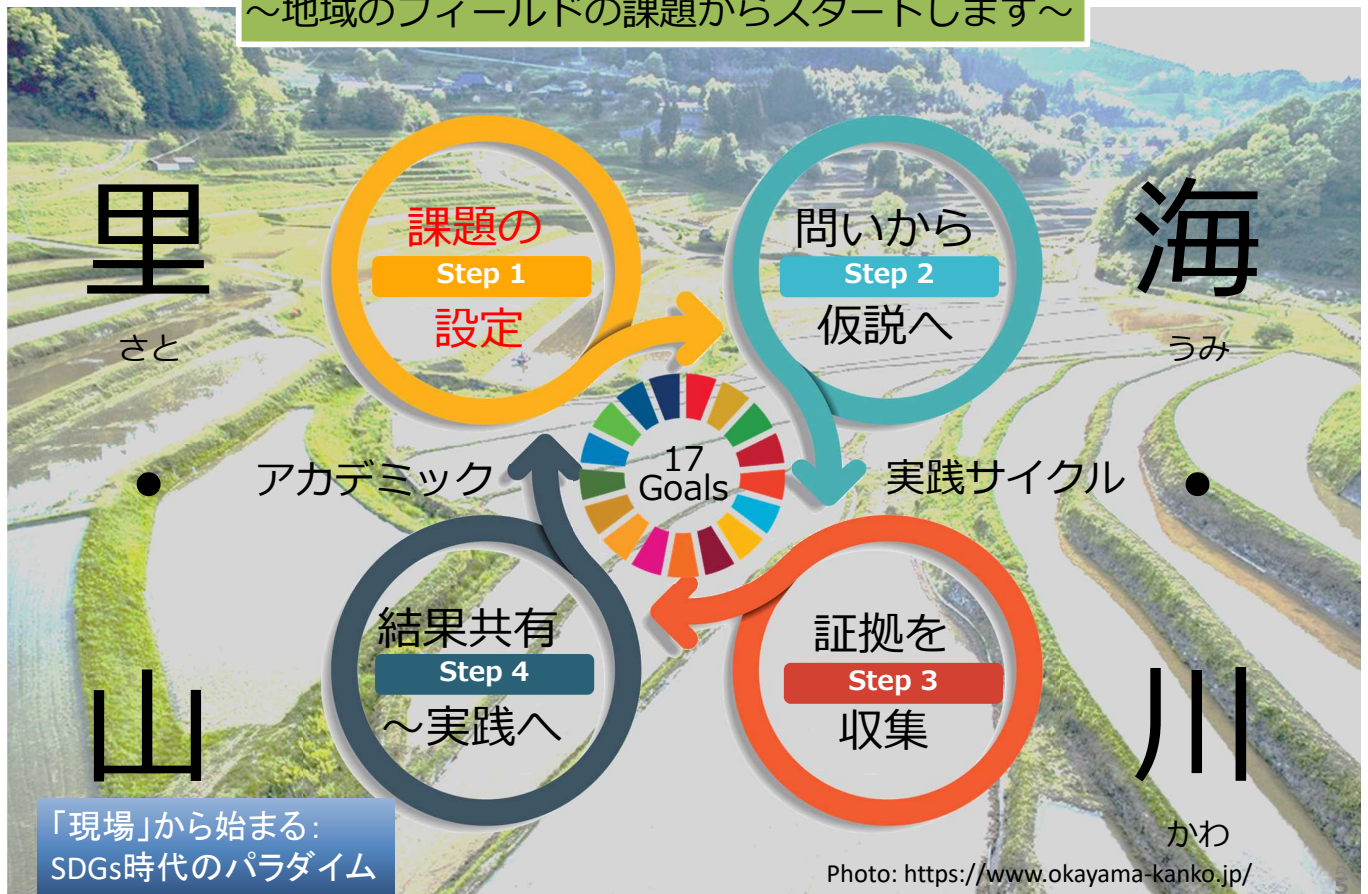
2017.12.26 総理大臣官邸における授賞式

【国公立大学では唯一の受賞】



大学の役割である社会課題解決実践サイクル

～地域のフィールドの課題からスタートします～



岡山から世界へ①

滞在型環境学習プログラムのグローバル展開



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

瀬戸内&高梁川&歴史文化&水島コンピナート連携で進めるSDGs
～高梁川流域・倉敷水島が考えるG7倉敷宣言・SDGsの具現化



岡山大学
OKAYAMA UNIV.



1. 高梁川流域と瀬戸内海の自然、文化、暮らしに直接触れる滞在体験型学習を通じて地域社会の持続可能性を発見
2. 未来を担う若者たちの思いを込めた流域のビジョンづくりなど実践型教育で地域を愛し地域に根付く人材を育成
3. イノベーション創出と暮らしや自然環境が調和する未来社会の実現に向けた英知と努力を世界の人々が学ぶ



水島を起点に瀬戸内海と高梁川流域に更なる元気を！ 日本から世界から人を呼び込むまちづくり！

産業界・自治体・地域住民・財団・大学の協働！



2020年東京五輪で進めるSDGs

～地域スポーツによる地方創生と国際交流・展開を大学が核となり支援



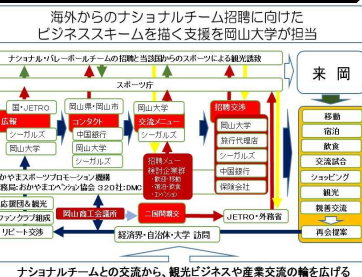
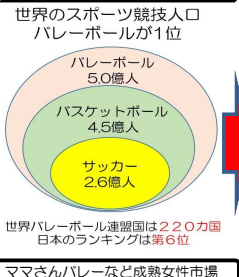
岡山シーガルズについて

内外にファン多数

マーケット

産業イノベーション創出

- 生まれは、他のチームと同じ「東芝」の企業チームでした
- 約20年前に企業のご事情により解散いたしました
- 監督が岡山の出身で岡山県のお招きにより岡山に身を寄せました
- 岡山の皆様のお力で女子バレー初のトップクラブチームとして再生
- 再来、20年近くトップチームとしてメダリストを生むまでに成長しました
- 全国47都道府県や世界にファンの皆様がで応援頂いています
- 地元83社のスポンサー様、産官学医言民政の支えで歩んでいます
- 企業チームと異なり地域への貢献活動を第1に掲げ活動しています
- 世界のナショナルチームと積極果敢に交流を進めています
- 私たちの夢はスポーツを活かした地方創生と国際交流・展開です



岡山シーガルズ 地域から世界へ向けたSDGs実践展開

岡山大学が顧問を派遣「協議会」発足

1 貧困をなくそう

人権スポーツふれあい教室

3 すべての人に健康と福祉を

健康長寿フェア ジャカルタ

5 ジェンダー平等を實現しよう

輝く女性の目線から講演活動

4 質の高い教育をみんなに

トップアスリート派遣事業

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

JETRO理事長来岡 経済界が提言

17 パートナリシップで目標を達成しよう

タイ国スポーツ庁やファンとの交流

岡山シーガルズの活躍に向けた民間活力活用推進協議会発起人

(平成30年4月3日発足)

岡山シーガルズを応援する医師・病院の会会長

SDGsを共通言語にオール岡山で世界へ

経済自律的スポーツチームモデルの確立と産学連携の国際展開

7

課題と夢でつながる：新たな産学官連携の形



作州地域10市町村および津山商工会議所と包括的連携・協力に関する協定を締結

2018年07月20日

本学は7月13日、作州地域の10市町村（津山、真庭、美作市、鏡野、勝央、奈義、久米南、美咲町、新庄、西粟倉村）および津山商工会議所と包括的連携・協力に関する協定を締結しました。

本協定は、岡山大学、作州地域10市町村、津山商工会議所が連携・協力体制を築くことにより、広範囲な地方創生および人材育成に寄与することを目的としています。また、本学が全学を挙げて推進しているSDGs（国連の持続可能な開発目標）達成への貢献にも寄与するものです。3月に津山商工会議所と本学が締結した包括的連携協定に基づいて会議所内に開設した「岡山大学津山スクール」を拠点に、教育を基軸とした事業の展開を行うこととしています。

津山市内で行われた締結式には、関係者約140人が出席。作州地域10市町村の首長、松田欣也津山商工会議所会頭、横野博史学長らが協定書を取り交わし、今後の連携事業の展開を期して堅い握手を交わしました。松田会頭、横野学長は、「ともに知恵を出し合い、10市町村それぞれの特色を生かし、さまざまな課題を解決したい」「共同で地域の課題に取り組み、SDGsのパートナーシップを推進し、地方創生および人材育成を図りたい」などと決意を示しました。

締結式の後、横野学長、狩野光伸副理事（SDGs推進担当）がそれぞれ、「共鳴しあうパートナーシップ、SDGsに貢献する岡山大学の取組」、「平成の黒船SDGsが岡山にもたらす大きな変化とは」と題して講演。本学と作州地域との関わりや、SDGsを地方創生および人材育成に活かす方法などについて話しました。

今後は、SDGsと地方創生を掛け合わせ、作州地域の人材育成と持続可能な地域社会の新しい仕組みづくりを進めていきます。

【本件問い合わせ先】
総務・企画部総務課
TEL：086-251-7007



締結後握手を交わす首長、松田会頭、横野学長ら



基調講演をする横野学長



狩野副理事による基調講演の様子

人口減少、経済活動の低下・・・

「ゆめ」「めあて」で個人からつながる：
SDGs時代のパラダイム

8

岡山県北地域教育プログラムがスタート

1期生が今、岡山大学で学んでいます

- 「人があったかい津山で、その大事さを知る子を育てたい」（津山市出身）
- 「地域を大事にできる子、地域の人に愛される学校を作りたい」（真庭市出身）
- 「うわべの学力でなく、『なぜそれが大事か』を説明できる先生になりたい」（勝央町出身）
- 「大学生が県北の学校を手伝いながら、若い子の役にたちたい」



次の世代のためにも働く：
SDGs時代のパラダイム



9

**岡山大学は、地域の課題を活用し
人材育成と国際展開によって
STI for SDGsのパートナーシップを
皆様と推進します**



ご清聴ありがとうございました

46